

令和4年度熊本県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会「第1回常任委員会」議事要旨

会場 県民総合運動公園陸上競技場内2階会議室
方法 来場とオンラインのハイブリッド開催
日時 令和4年4月25日（月）午後6時～午後7時45分
出席者 石原輝捷、甲斐則之（来場 2人）
齋藤久允、桐原正喜、廣田悦生、福永賀友（オンライン 4人）
有働秀樹（オブザーバー 1人）
太田黒、梶田（事務局 2人）

1 開会

2 挨拶 石原副会長挨拶

3 議長選出 齋藤理事長議長

4 議事

(1) 令和3年度事業報告について（資料P1～9）

(2) 令和3年度決算報告について（資料P10～11）

・事務局から、令和3年度の事業報告及び決算報告。

一委員から特に意見なし一

(3) 令和4・5年度本協議会役員改選について（資料P12）

・事務局から、現在各ブロックの理事候補者については協議中である旨報告。

・第1回理事会までには理事候補者及び会長、副会長候補者、監事を明記して提案する旨説明。

一委員から特に意見なし一

(4) 株式会社イトメンとの連携について（資料P13～15）

・事務局から令和元年度から連携を開始した株式会社イトメンとの連携について説明。

・令和4年度は原材料の影響により値上げとなっている旨報告。

一委員から特に意見なし一

(5) 種目別交流大会の開催について（資料No.16、参考1）

・事務局から、昨年度までの協議内容及び実施に向けた調査や財源、スケジュール等説明。

一委員から意見あり一

・廣田理事：スポーツ大会ばかりではなく、例えば「総合型クラブマルシェ」のようなスポーツ体験ブースやキッチンカーなども集まるイベントも効果的ではないか。希望するクラブを繋いで実施に結び付けることができれば、本協議会のメリットにもなると思う。

・桐原理事：種目大会の開催は賛成だが、受け入れのキャパシティを考えると会場確保や実施時期を考える必要がある。ふれあいスポーツと廣田理事の意見であったマルシェと一緒にできると総合型クラブの普及につながると思う。

・齋藤理事長：県内クラブの大会やイベントを視察することで運営ノウハウを学ぶ研修となるようなアプローチもあっていいのではないか。なお、イベントについては、コロナ禍でキッチンカーも人気で、出店場所を探している。種目別交流大会はSCS加入クラブ会員の特典としてもいいが、イベント型の事業は誰もが参加できる形にし、総合型クラブの認知度向上や啓発に繋がるといいと思う。また、スポーツ大会と文化イベントという記載であるが、上記マルシェの実施等も実施可能にするとすれば、単純にイベントという記載の方がいいと思う。

・甲斐理事：本クラブでは、クラブ事務局近くの公園で体操服の販売（業者から頼まれている収益事業）や

伝承遊びを行った。スポーツというより運動遊び的な形だと参加が見込めると思う。

・石原副会長：たくさんの企画があり、大変感心している。あとは実施に向けて詳細を詰める必要がある。

—協議結果—

・種目別交流大会、文化イベントという括りではなく、SCS 加入クラブの特典となる事業と、総合型クラブそのものの認知度向上に向けたイベントについても促進する方向性をもつ。

・事前調査では、競技別交流大会の実施希望等を行う際、追加質問として、イベントがあったらブースとしての出店や受け持ち希望があるか、クラブの人気の指導者の紹介を調査する。

(6) 県民スポーツの日「ふれあいスポーツ」の参加意向について（資料P 17～19）

・事務局から、県教委主催県民スポーツの日への参加意向調について説明。

—協議結果—

・昨年度の反省を踏まえ、総合型クラブの啓発として考えると、会場は人が集まる場（熊本駅等）がいい。

・県内の任期の指導者対応いただき、その指導者の指導を視察・研修できる場にする。

5 報告

(1) 令和4年度本協議会加入クラブについて（資料P 20）

・事務局から加入状況を報告。

(2) 令和4年度事業計画について（資料No.21）

(3) 令和4年度予算について（資料No.22～23）

・事務局から一括して説明。決算額確定に伴う予算の訂正について説明。

6 その他

(1) 総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度運用について（資料No.24、参考2）

・事務局から本年度から運用開始となる制度について説明。

—委員から意見あり—

・廣田理事：登録・認証制度で行政とクラブが連携することは分かるが、市町村体育・スポーツ協会の動きをもう少し活発にする手立てにつながると良い。玉名市の場合はあまり連携できていない。

(2) 第3期スポーツ基本計画について

・令和4年3月25日に施行された旨報告。

(3) ウクライナ義援募金について

・ウクライナ義援募金への対応について意見聴取。

・齋藤理事長：イトメン販売に係る売上の一部を義援募金に充当するといいいのではないか。

—協議結果—

・理事会にて協議決定する。

7 閉会

